令和７年度
鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験

［養護教諭］

試験時間：６０分

注　意　事　項

１　試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見ないこと。

２　解答用紙（マークシート）の、「氏名」「試験区分・教科（科目等）」「受験番号」欄を記入し、さらに受験番号の下のマーク欄にマークすること。正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

（例）養護教諭　４２００番　大山　太郎さんの場合
「大山　太郎」「養護教諭」「４２００」

３　解答は、解答用紙の解答番号１～45の解答欄にマークすること。

４　問題冊子は全部で３１ページ。

５　黒鉛筆又はシャープペンシル（ＨＢ又はＢに限る。）を使用してマークすること。

６　試験中に問題の印刷の不鮮明なところや、ページの落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて試験官に知らせること。

※　本専門試験における「障がい」表記については、法令及び条例並びに鳥取県以外の団体等が定めた通知等及び新たに作成又は発出する前の公文書等の名称を用いる場合、医学用語等の専門用語として用いる場合、著作物を引用する場合は「障害」と表記する。

第１問　次の文章は、教育基本法第４条の条文である。（　①　）～（　③　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。

１

> 第４条　すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならず、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は（　①　）によって、教育上差別されない。
> ２　国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の（　②　）に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
> ３　国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、（　③　）によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

１　①　門地　　②　状態　　③　経済的理由
２　①　門地　　②　種別　　③　家庭内事情
３　①　門地　　②　状態　　③　家庭内事情
４　①　出自　　②　種別　　③　家庭内事情
５　①　出自　　②　状態　　③　経済的理由

第２問　次の文章は、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和３年１月　中央教育審議会答申）の「第Ⅰ部　総論　３．2020年代を通じて実現すべき『令和の日本型学校教育』の姿　(1) 子供の学び」の一部である。（　①　）～（　③　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。

２

全ての子供に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するためには、教師が支援の必要な子供により（　①　）な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の（　②　）」が必要である。

基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、幼児期からの様々な場を通じての体験活動から得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する「学習の（　③　）」も必要である。

１　①　重点的　　②　弾力化　　③　効率化
２　①　重点的　　②　個別化　　③　個性化
３　①　重点的　　②　個別化　　③　効率化
４　①　丁寧　　②　個別化　　③　効率化
５　①　丁寧　　②　弾力化　　③　個性化

第３問　次の文章は、「特別支援教育の手引」（令和４年３月改訂　鳥取県教育委員会）の「２　切れ目ない支援」の一部である。（　①　）～（　③　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。なお、同じ番号の（　　）には同じ語句が入るものとする。 3

障がいのある児童生徒等は、教育、福祉、医療等の複数の機関と関わっていくことが必要であり、特別な支援が必要な児童生徒等やその保護者が、乳幼児期から学齢期、（　①　）に至るまで、地域で切れ目ない支援を受けるためには、関係機関との連携が必要不可欠です。

そこで、文部科学省と厚生労働省では、両省による「トライアングル」プロジェクトを発足し、家庭と教育と福祉のより一層の連携を推進するための方策が検討されました。

平成30年３月に取りまとめられた「トライアングル」プロジェクト報告では、放課後等デイサービスや保育所等訪問支援事業等の福祉制度について、校長会や教職員の研修会等において周知することや、学校・園だけでなく家庭や地域を含めた一貫した支援がより一層組織的・継続的かつ計画的に進められるよう、「（　②　）」の作成・活用に、保護者や関係機関の参画を促すこと等が盛り込まれました。

今後は、小・中学校等においても、福祉部局の方を招いて福祉サービスを学んだり、相談支援事業所を加えた支援会議を開いて連携機関や連携方法を具体的に確認したりすることが求められます。特別支援学校の（　③　）機能を活用し、福祉との連携の仕方について相談するのもよいでしょう。また、「（　②　）」を、作成時のみでなく関係機関との連携や引継ぎに活用し、切れ目ない支援に役立てることが大切です。

１　①　集団参加　②　個別の教育支援計画　③　センター的
２　①　集団参加　②　個別の指導計画　③　センター的
３　①　集団参加　②　個別の教育支援計画　③　教育相談
４　①　社会参加　②　個別の指導計画　③　教育相談
５　①　社会参加　②　個別の教育支援計画　③　センター的

第４問　次の問１、問２の各問いに答えなさい。

問１　次の文章は、小学校学習指導要領（平成29年３月告示）の「第２章　各教科　第９節　体育　第２　各学年の目標及び内容〔第３学年及び第４学年〕　２　内容　G　保健」である。（　①　）～（　④　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。なお、同じ番号の（　　）には同じ語句が入るものとする。 4

(1)　健康な生活について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　健康な生活について理解すること。
(ｱ)　心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。
(ｲ)　毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、（　①　）を保つことなどが必要であること。
(ｳ)　毎日を健康に過ごすには、（　②　）の調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。
イ　健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを（　③　）すること。
(2)　体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　体の発育・発達について理解すること。
(ｱ)　体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。
(ｲ)　体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、（　④　）などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。
(ｳ)　体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。
イ　体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを（　③　）すること。

1　①　口腔の衛生　②　明るさ　③　点検　④　精通
2　①　体の清潔　②　温度　③　点検　④　変声
3　①　体の清潔　②　明るさ　③　表現　④　精通
4　①　口腔の衛生　②　温度　③　表現　④　変声
5　①　口腔の衛生　②　明るさ　③　表現　④　精通

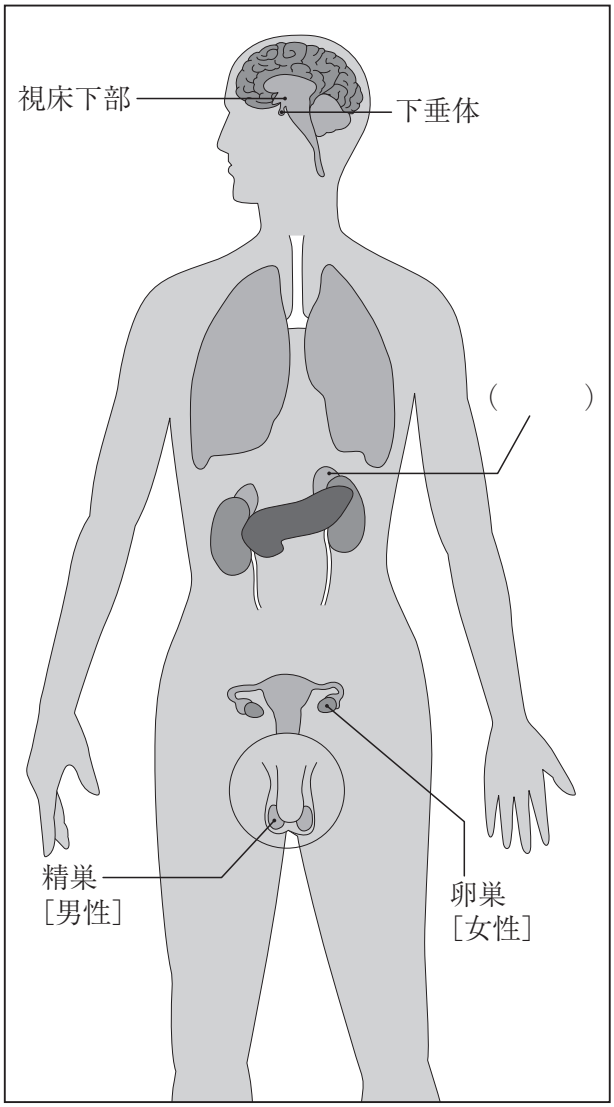
問２　次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年３月告示）の「第２章　各教科　第７節　保健体育〔保健分野〕１　目標」である。（　①　）～（　④　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 5

> １　目標
> ⑴（　①　）における健康・安全について理解するとともに、基本的な（　②　）を身に付けるようにする。
> ⑵　健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに（　③　）を養う。
> ⑶　生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、（　④　）生活を営む態度を養う。

１　①　個人生活　②　技能　③　自己管理能力　④　明るく豊かな
２　①　社会生活　②　技能　③　他者に伝える力　④　活力ある
３　①　個人生活　②　技能　③　他者に伝える力　④　明るく豊かな
４　①　社会生活　②　知識　③　他者に伝える力　④　活力ある
５　①　個人生活　②　知識　③　自己管理能力　④　活力ある

第５問　次の問１、問２の各問いに答えなさい。

問１　次の図は、からだのつくり（内分泌系）を模式的に表したものである。（　　）にあてはまる語句を、下の１～５の中から一つ選びなさい。 6



1　副腎
2　甲状腺
3　上皮小体
4　すい臓
5　脾臓

問２　次の文章は、「『ギャンブル等依存症』などを予防するために　生徒の心と体を守るための指導参考資料」（平成31年３月　文部科学省）の一部である。①～⑤について、正しいものの組み合わせを、下の１～５の中から一つ選びなさい。

7

① 行動嗜癖は誰でもなるものではなく、開始年齢が低いほど、陥りやすい傾向がある。
② 「いつでも、どこでもできる」ことは行動嗜癖に陥る要因である。
③ ギャンブル等やゲームなどにのめり込まないようにするためには、ストレスに対する適切な対処方法を身に付けることが大切である。
④ ゲームについては、家庭内のルール作りを行うなど、適切な生活習慣を身に付けるように促す。
⑤ 行動嗜癖は、物質依存と異なり、自分の意思のみでやめることができる。

１　①、②、③
２　①、③、④
３　③、④、⑤
４　②、④、⑤
５　②、③、④

第６問　次の問１～問20の各問いに答えなさい。

問１　次の文章は、「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）の「第２章　調査結果から見た学校保健の課題とその対応　Ⅱ　保健管理　１　救急処置」の一部である。正しいものの組み合わせを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 8

① いざという時に、AEDが機能するよう、管理者を定めて適切な管理を怠らないことが重要である。
② AEDの電極パッドに使用期限はない。
③ 校内研修の実施時期は年度末が望ましく、毎年実施することが大切である。
④ 救急箱、担架、AED等の整備及び位置が明示されており、周知されているかは救急処置の評価の視点の一つである。
⑤ 保護者への緊急の際の連絡方法は複数確保しておく。

1　①、②、③
2　③、④、⑤
3　②、③、⑤
4　①、④、⑤
5　①、③、④

問２　次の文章は、学校で行う救急処置に関する留意点である。**誤っているもの**を、次の１～５の中から一つ選びなさい。 9

1　症状の適確な見極めと医療機関等への受診等を含めて養護教諭が総合的に判断し、対応することが重要である。
2　児童生徒等の生命に関わる緊急事案については、管理職への報告よりも救命処置を優先させ迅速に対応する。
3　教職員は、事故等の状況や被害児童生徒等の様子に動揺せず、また、その他の児童生徒等の不安を軽減するよう対応する。
4　日頃から救急体制に関して教職員・児童生徒等・保護者等に周知を図り、理解と協力を得ておくことが大切である。
5　養護教諭は、救急処置に関する校内研修の指導者としての役割を果たすのではなく、企画者として積極的に参画する。

問３　次の文章は、「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年12月　独立行政法人日本スポーツ振興センター）の「心停止の救命処置」の一部である。**誤っているもの**を、次の１～５の中から一つ選びなさい。 10

１　心停止を疑ったら、ためらうことなく迅速に心肺蘇生とAEDの装着を行う。
２　死戦期呼吸は、心停止と判断する。
３　心肺蘇生とAEDによる電気ショックは、胸骨圧迫→気道確保→人工呼吸→電気ショックの手順で行う。水の事故（溺水）では、電気ショックを優先する。
４　人工呼吸ができる場合、胸骨圧迫：人工呼吸＝30：２で行う。
５　胸骨圧迫は、少なくとも１分間に100回～120回の速さで行う。

問４　次の文章は、「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年12月　独立行政法人日本スポーツ振興センター）の「頭頸部外傷への対応」の一部である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 11

１　頭頸部外傷は命に関わるもの、命を取り留めても後遺症を残すものもあるため、体育活動に参加する児童生徒や指導者が頭頸部の外傷を理解し、適切に対処することが重要である。
２　脳震盪は脳への外傷によって引き起こされるものであり、必ず意識消失を伴う。
３　脳震盪症状があったが、すぐに回復した場合は競技を続行させる。
４　混乱や興奮状態は、脳震盪症状ではない。
５　脳震盪が疑われたら、少なくとも１時間は観察する。

問５　次の文章は、学校保健安全法施行規則第７条の条文の一部である。下線部①～④について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 12

５　前条第１項第八号の結核の有無は、①保健調査、胸部エックス線検査、②喀痰検査、聴診、③触診その他必要な検査によって検査するものとし、その技術的基準は、次の各号に定めるとおりとする。

一　前条第３項第一号又は第二号に該当する者に対しては、①保健調査を行うものとする。

二　前条第３項第三号又は第四号に該当する者（結核患者及び結核発病のおそれがあると診断されている者を除く。）に対しては、胸部エックス線検査を行うものとする。

三　第一号の①保健調査を踏まえて④保健所長その他の担当の医師において必要と認める者であって、当該者の在学する学校の設置者において必要と認めるものに対しては、胸部エックス線検査、②喀痰検査その他の必要な検査を行うものとする。

四　第二号の胸部エックス線検査によって病変の発見された者及びその疑いのある者、結核患者並びに結核発病のおそれがあると診断されている者に対しては、胸部エックス線検査及び②喀痰検査を行い、更に必要に応じ聴診、③触診その他必要な検査を行う。

1	①	×	②	○	③	×	④	×
2	①	○	②	○	③	○	④	○
3	①	×	②	×	③	○	④	×
4	①	○	②	×	③	×	④	○
5	①	×	②	○	③	○	④	×

問６　次の文章は、学校保健安全法第13条、第14条の条文である。下線部①～⑤について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 13

> 第13条　学校においては、①毎学期定期に、児童生徒等（②通信による教育を受ける学生を除く。）の健康診断を行わなければならない。
> ２　学校においては、必要があるときは、臨時に、児童生徒等の健康診断を行うものとする。
> 第14条　学校においては、前条の健康診断の結果に基づき、③疾病の予防処置を行い、又は④療養を助言し、並びに⑤学習及び運動を軽減する等適切な措置をとらなければならない。

１	①	○	②	○	③	×	④	○	⑤	×
２	①	×	②	○	③	○	④	×	⑤	×
３	①	×	②	×	③	○	④	○	⑤	○
４	①	×	②	○	③	○	④	○	⑤	×
５	①	○	②	×	③	×	④	×	⑤	○

問７　学校保健安全法第11条、第15条に定める健康診断の実施主体の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 14

	実施主体
就学時の健康診断	（　①　）
学校の職員の健康診断	（　②　）

１	①	学校の設置者	②	校長
２	①	校長	②	学校の設置者
３	①	市町村の教育委員会	②	学校の設置者
４	①	学校の設置者	②	市町村の教育委員会
５	①	保健所・保健センター	②	市町村の教育委員会

問８　次の文章は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月　公益財団法人日本学校保健会）の「第１章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　１　健康診断の目的と位置付け　２　学校における健康診断の目的と役割」である。下線部①～④について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 15

> 学校保健安全法では、学校における児童生徒等の健康の保持増進を図るため、学校における①保健教育について定めており、学校における健康診断は、この中核に位置する。また、学習指導要領解説特別活動編において②儀式的行事として例示されており、教育活動として実施されるという一面も持っている。このことから学校における健康診断は、③家庭における健康観察を踏まえて、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するという役割と、学校における健康課題を明らかにして④健康教育に役立てるという、大きく二つの役割がある。

１　①　○　②　×　③　×　④　×
２　①　○　②　○　③　○　④　×
３　①　×　②　×　③　×　④　○
４　①　×　②　○　③　○　④　○
５　①　×　②　×　③　○　④　○

問９　次の文章は、学校保健安全法第９条の条文である。（　　）にあてはまる語句を下の１～５の中から一つ選びなさい。 16

> 第９条　養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の（　　）により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第16条に規定する保護者をいう。第24条及び第30条において同じ。）に対して必要な助言を行うものとする。

１　毎朝の観察
２　日常的な観察
３　毎日の観察
４　定期的な観察
５　観察

問10　次の文章は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年　文部科学省）に示されている健康観察に関する記述の一部である。①～⑤について、**誤っているもの**の組み合わせを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 17

① 健康観察は、子どもの心身の健康問題の早期発見・早期対応を図るために行うものであり、自己管理能力の育成を図ることを目的としていない。
② 健康観察は、子どもの発達段階、年齢に応じてかかりやすい病気、特別な支援を必要としている子どもの特性等を考慮した上で実施する必要がある。
③ 健康観察を実施する際は、実施方法等について教職員の共通理解を得るなど組織的に実施する必要がある。
④ 健康観察は欠席者、遅刻者の把握及び出席者の心身の健康状態を把握するためのものであり、結果の集計・分析の必要はない。
⑤ 子どもは、心の問題が顔の表情や行動に現れたり、頭痛・腹痛などの身体症状となって現れたりすることもあるため、きめ細やかな観察が必要である。

1　①、②
2　③、④
3　④、⑤
4　①、④
5　②、③

問11　次の文章は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年　文部科学省）の「第５章　事例から見る子どものメンタルヘルスの理解と対応」に示されている健康観察のポイントの一部である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 18

1　思春期の子どもが抑うつ状態を示したとき、双極性障害の可能性を念頭に置く必要がある。
2　分離不安の背景には愛情不足があり、子どもの広汎性発達障害が要因となる場合は考えにくい。
3　拒食症（神経性無食欲症）と単なるダイエットの区別は容易である。
4　チックの症状は顔や手足の動きの症状であり、声が出るという症状はない。
5　ボーッとしている子どもは、生活リズムの乱れが原因であり、てんかん発作を疑う必要はない。

問12　次の文章は、「学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）の「第１章　健康観察の進め方　２　危機発生時の健康観察」の一部である。**誤っているもの**を、次の１～５の中から一つ選びなさい。

19

１　災害や事件・事故発生時における子供のストレス症状の特徴を踏まえた上で、健康観察を行う。

２　子供は、自分の気持ちを自覚していないことや、言葉でうまく表現できないことが多い。

３　危機発生時の子供の心身の健康問題を把握するための方法としては、子供の様子の直接的な観察、保護者との話合いによる間接的観察及び質問紙を使った調査等の方法がある。

４　頭痛や腹痛、眠れない、食欲不振などの身体症状は一時的なものであり、すぐに改善するため、心の症状にのみ注目することが大切である。

５　危機発生時にもすぐに健康観察ができるように、日頃から危機発生時に行う健康観察の項目を考え、記録用紙を用意するなどの準備をしておくとよい。

問13　次の文章は、学校保健安全法施行規則第９条の条文である。下線部①～⑤について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 20

> 第９条　学校においては、法第13条第一項の健康診断を行ったときは、①28日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者（学校教育法（昭和22年法律第26号）第16条に規定する保護者をいう。）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第14条の措置をとらなければならない。
> 一　疾病の予防処置を行うこと。
> 二　必要な医療を受けるよう指示すること。
> 三　必要な検査、②予防接種等を受けるよう指示すること。
> 四　療養のため必要な期間③学校に登校しないよう指導すること。
> 五　特別支援学級への編入について指導及び助言を行うこと。
> 六　学習又は運動・作業の軽減、停止、変更等を行うこと。
> 七　修学旅行、対外運動競技等への参加を④停止すること。
> 八　机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
> 九　その他発育、健康状態等に応じて適当な⑤健康相談を行うこと。

1	①	○	②	×	③	×	④	○	⑤	○
2	①	×	②	○	③	○	④	×	⑤	○
3	①	×	②	×	③	○	④	○	⑤	○
4	①	×	②	○	③	×	④	×	⑤	×
5	①	○	②	○	③	○	④	×	⑤	×

問14　次の文章は、「学校心臓検診の実際　スクリーニングから管理まで　令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）の「Ⅵ　管理の実際　B　学校生活管理指導表の活用　４　指導区分決定の目安」の一部である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 21

1　指導区分「A」は、同年齢の平均的児童生徒と同程度の運動耐要能を有するもの。
2　指導区分「B」は、同年齢の平均的児童生徒にとっての軽い運動では、少し息がはずむが息苦しくはないが、中等度の運動では動悸や息苦しさを感じるもの。時に起こる軽度の心不全、ごく軽いチアノーゼ、ほぼコントロールされている運動誘発性不整脈など。
3　指導区分「C」は、同年齢の平均的児童生徒にとっての軽い運動でも動悸・息切れをきたすもの。中等度の心不全、かなり強いチアノーゼ、運動誘発性の重症不整脈でコントロール不十分なもの。
4　指導区分「D」は、家庭での温和な生活には大きな問題はないが、比較的軽い社会生活でも動悸や息切れをきたすもの。常在性心不全、高度なチアノーゼ、コントルール不十分な運動誘発性の致死的不整脈など。
5　指導区分「E」は、家庭内での日常的温和な生活でも動悸や息切れをきたすもの。心臓術後早期、常在する重篤な心不全、高度なチアノーゼなど。

問15　次の文章は、「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　公益財団法人日本学校保健会）の「Ⅲ　感染症各論」の感染症胃腸炎に関する記述である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 22

1　持続する発熱、発しん（バラ疹）などで発病する。
2　嘔吐と下痢が主症状である。ロタウイルス感染症にり患した乳幼児は時に下痢便が白くなることもある。
3　原因となる病原体に対しては、速乾性すり込み式手指消毒剤やアルコール消毒が有効である。
4　発症数週間後にギランバレー症候群を併発することもある。
5　乏尿や出血傾向、意識障害は、溶血性尿毒症症候群や急性脳症の合併を示唆する症状であり、このような場合は速やかに医療機関を受診する。

問16　次の表は、「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　公益財団法人日本学校保健会）の「Ⅲ　感染症各論」の一部をまとめたものである。表中の下線部①～⑤について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 23

①麻しん	・発しんは体と首のあたりから顔面に生じやすく、発熱を認めることが多い。発しんは紅斑、水疱、膿疱、かさぶたの順に変化する。かゆみや疼痛を訴えることもある。 ・ワクチンによる予防が可能。空気感染のため、学校などの集団の場では、１名発症した場合、速やかに発症者周辺の児童等のり患歴・予防接種歴の確認が望ましい。患者との接触後、72時間以内であればワクチンにて発症の阻止、あるいは症状の軽減が期待できる。
マイコプラズマ感染症	・学童期以降の細菌性肺炎としては最も多い。 ・咳、発熱、頭痛などのかぜ症状がゆっくりと進行し、特に咳は徐々に激しくなる。しつこい咳が３～４週持続する場合もある。中耳炎・鼓膜炎や発しんを伴うこともあり、重症例では呼吸困難になることもある。治療は適切な②抗菌薬で行う。
インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症	・生後３か月～５歳までの細菌性髄膜炎、敗血症、細菌性肺炎などの原因の４分の３程度を占める。 ・平成20（2008）年に③MR生ワクチン、平成22（2010）年に７価肺炎球菌結合型ワクチンの任意予防接種が開始され、平成23（2011）年から全国的に公費助成が行われ接種率は上昇した。
溶連菌感染症	・主にＡ群溶血性レンサ球菌が原因となる感染症である。扁桃炎など上気道感染症、皮膚感染症、④猩紅熱などが主な疾患である。特に注意すべき点は、本症がいろいろな症状を呈すること、合併症として発症数週間後にリウマチ熱、腎炎を起こす場合があることである。そのため、全身症状が強いときは安静にし、確実な抗菌薬治療を受け、経過を観察する必要がある。
⑤RSウイルス感染症	・かぜ様症状の後に、顔面、頬部に蝶のような形の紅斑がみられ、手足にはレース状の紅斑がみられる。 ・幼児から学童に好発する。

1　①　○　②　×　③　×　④　×　⑤　○
2　①　×　②　○　③　×　④　○　⑤　×
3　①　○　②　○　③　○　④　×　⑤　×
4　①　×　②　×　③　○　④　○　⑤　○
5　①　×　②　○　③　×　④　×　⑤　×

問17　次の文章は、学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示第60号）　第６　雑則の記述の一部である。（　①　）～（　④　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 24

第６　雑則

１　学校においては、次のような場合、必要があるときは、臨時に必要な検査を行うものとする。

(1)　感染症又は（　①　）の発生のおそれがあり、また、発生したとき。

(2)　風水害等により（　②　）が不潔になり又は汚染され、感染症の発生のおそれがあるとき。

(3)　新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により（　③　）の発生のおそれがあるとき。

(4)　その他必要なとき。

２　略

３　定期及び臨時に行う検査の結果に関する記録は、検査の日から（　④　）保存するものとする。また、毎授業日に行う点検の結果は記録するよう努めるとともに、その記録を点検日から３年間保存するよう努めるものとする。

４　略

1	①	事故	②	環境	③	揮発性有機化合物	④　５年間
2	①	食中毒	②	環境	③	揮発性有機化合物	④　５年間
3	①	食中毒	②	施設・設備等	③	揮発性有機化合物	④　５年間
4	①	食中毒	②	施設・設備等	③	浮遊粉じん	④　10年間
5	①	事故	②	施設・設備等	③	浮遊粉じん	④　10年間

問18　次の文章は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（2018年８月　公益財団法人日本学校保健会）の「机、いすの高さ」の理想的な学習姿勢に関する記述の一部である。①～⑤のうち、正しいものはいくつあるか。下の１～５の中から一つ選びなさい。 25

① いすに浅く座る。
② 膝関節を直角に曲げる。
③ 足の裏が床につく。
④ 背筋を伸ばす。
⑤ 上肢を自然に体側につけた状態で、前腕を直角に曲げる。上肢をごくわずか前に出したとき、上腕の下部が机面の高さとほぼ同じになる。

1　なし
2　1つ
3　2つ
4　3つ
5　4つ

問19　次の表は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（2018年８月　公益財団法人日本学校保健会）の「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準」の一部である。（　①　）～（　⑤　）にあてはまる小数または数の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 26

検査項目	基準
浮遊粉じん	（　①　）mg/m^{3}以下であること。
ホルムアルデヒド	（　②　）μg/m^{3}以下であること。
照度	教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、（　③　）lx（ルクス）とする。
まぶしさ	児童生徒等から見て、黒板の外側（　④　）°以内の範囲に輝きの強い光源（昼光の場合は窓）がないこと。
騒音レベル	教室内の等価騒音レベルは、窓を開けているときはLAeq（　⑤　）dB以下であることが望ましい。

1　①　0.10　②　100　③　300　④　15　⑤　55
2　①　0.50　②　220　③　500　④　10　⑤　55
3　①　0.50　②　100　③　300　④　15　⑤　50
4　①　0.10　②　220　③　500　④　10　⑤　50
5　①　0.10　②　220　③　300　④　15　⑤　50

問20　次の文章は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（2018年８月　公益財団法人日本学校保健会）の「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第２　飲料水等の水質及び施設・設備に係る学校環境衛生基準　１　水質（1）水道水を水源とする飲料水（専用水道を除く。）の水質」の一部である。**誤っているもの**を、次の１～５の中から一つ選びなさい。 27

1　一般細菌は、１mLの検水で形成される集落数が10以下であること。
2　大腸菌は、検出されないこと。
3　塩化物イオンは、200mg/L以下であること。
4　pH値は、5.8以上8.6以下であること。
5　味は、異常でないこと。

第７問　次の問１～問18の各問いに答えなさい。

問１　次の文章は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂」（令和２年２月　公益財団法人日本学校保健会）の「第２章　歯・口の健康づくりの理論と基礎知識　第４節　歯周病の原因とその予防」の一部である。①～⑤のうち**誤っているもの**はいくつあるか。下の１～５の中から一つ選びなさい。 28

① 歯周病には、歯垢をはじめとして、噛み合せ、全身的因子などの因子が関与する。
② 歯周病の原因を完全に除去することは不可能に近いが、適切な歯みがきや食習慣等を含む生活習慣を改善することで、口のなかにある原因を少なくすることはできる。
③ 定期的にプロフェッショナルケアを受けることは、歯周病の予防につながる。
④ ＧＯ（歯周疾患要観察者）とは、歯垢の付着と歯肉に軽度の炎症がみられるが、歯石沈着はなく、生活習慣の改善と注意深いブラッシング等によって炎症が改善されるような歯肉の状態の者をいう。
⑤ 口臭症治療のなかで有効性のあるのは、適切な舌清掃である。

１　なし
２　１つ
３　２つ
４　３つ
５　４つ

問２　次の文章は、「改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引」（令和２年３月文部科学省）「第２章　保健教育の展開例　性に関する指導の留意点」の一部である。**誤っているもの**を、下の１～５の中から一つ選びなさい。 29

１　学校における性に関する指導は、教育課程において実施されることから、学習指導要領に基づいて行うことが重要である。
２　子供たちが、健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにするとともに、薬物乱用防止等を徹底することが課題となっている。
３　性に関する指導については、健康教育の一環として、集団指導のみで進めることが重要である。
４　性に関する指導は、生徒の発達の段階を考慮した上で実施する必要がある。
５　生涯にわたって健康で安全な生活や健全な食生活を送ることができるよう、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を子供たち一人一人に育むことが強く求められている。

問３　次の文章は、主ながんに関する記述である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 30

１　日本人のがんのなかで、死亡数がもっとも多く、とくに男性に多いのは、すい臓がんである。
２　大腸がんのうち、日本人は、Ｓ状結腸と直腸にがんができやすいといわれている。初期の自覚症状はほとんどなく、進行すると、血便、下痢と便秘の繰り返し、便が残る感じ、体重減少などが起こる。
３　子宮がんは、ヒトパピローマウイルスへの感染が原因で、女性がかかるがんのなかでもっとも多い。
４　肝臓がんは、肝炎ウイルスへの感染がおもな原因で、肝臓の細胞ががん化したもの。30歳代から増加し、50歳前後でピークとなる。
５　白血病は、発病原因の多くは不明で、小児がんの約９割を占める血液のがんである。

問４　次の文章は、「がん教育推進のための教材」（令和３年３月一部改訂　文部科学省）の記述の一部である。下線部①～⑤について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 31

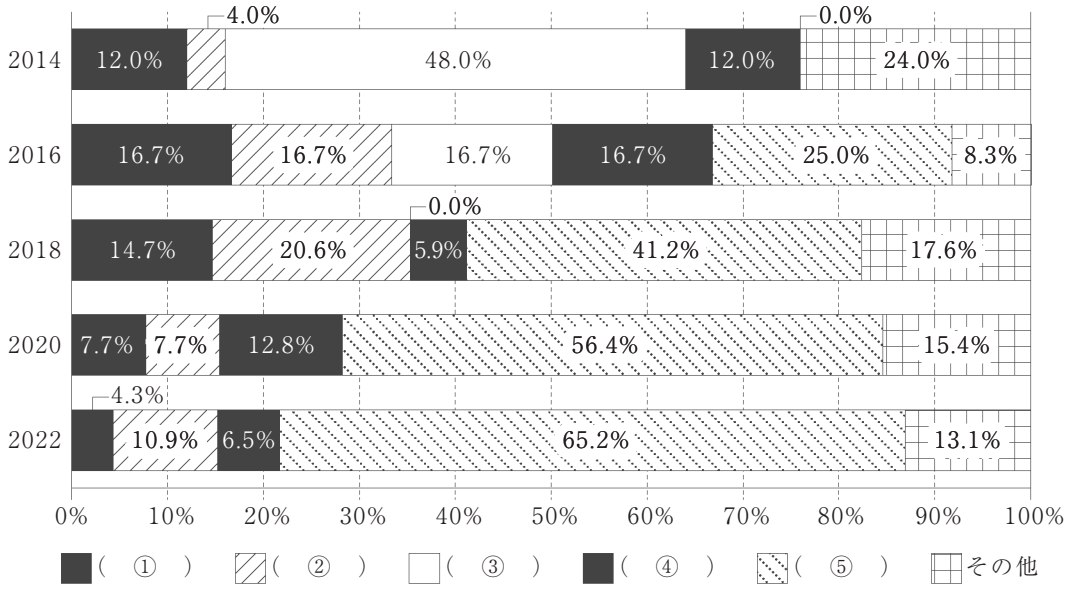
正常な細胞の遺伝子に傷がついてできる異常な細胞のかたまりの中で悪性のものを「がん」という。健康な人の体でも毎日、多数のがん細胞が発生しているが、①免疫が働いてがん細胞を死滅させている。しかし、この①免疫が年を取ることなどにより低下すると、発生したがん細胞を死滅させることが難しくなる。また、がん細胞は、無秩序に増え続けて周囲の組織に広がり、他の臓器にも移動してその場所でも増えていく。このことを②転移という。

がん治療の三つの柱として、手術療法、放射線療法、③食事療法が挙げられる。がんの種類と進行度などを踏まえて、これらを単独あるいは組み合わせて行うことが、標準的な治療法として推奨されている。また、こうした治療と並行して、心と体の痛みを和らげる④緩和ケアも行われる。

がんの治療法は、患者が医師から治療の目的や内容、方法などについて十分説明を受けて理解し、よく相談した上で選択、決定していくことが重要である。がん治療において⑤セカンド・オピニオンは重要であり、医師が十分な説明をした上で、患者の同意に基づいて治療方針が決定される。

１	①	×	②	○	③	○	④	○	⑤	○
２	①	○	②	×	③	×	④	×	⑤	×
３	①	×	②	×	③	○	④	○	⑤	○
４	①	○	②	○	③	×	④	○	⑤	×
５	①	○	②	○	③	×	④	×	⑤	○

問５　次の表は、「薬物乱用防止教室マニュアル－令和５年度改訂－」（令和６年３月公益財団法人日本学校保健会）の「全国の精神科医療施設を受診している薬物依存症の患者のうち、10代の患者の主たる薬物の年次推移」を表したものである。（　①　）～（　⑤　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５から一つ選びなさい。 32



1　①　市販薬　②　覚醒剤　③　大麻
　　④　危険ドラッグ　⑤　睡眠薬・抗不安薬

2　①　危険ドラッグ　②　睡眠薬・抗不安薬　③　市販薬
　　④　大麻　⑤　覚醒剤

3　①　大麻　②　危険ドラッグ　③　睡眠薬・抗不安薬
　　④　市販薬　⑤　覚醒剤

4　①　覚醒剤　②　大麻　③　危険ドラッグ
　　④　睡眠薬・抗不安薬　⑤　市販薬

5　①　睡眠薬・抗不安薬　②　市販薬　③　危険ドラッグ
　　④　覚醒剤　⑤　大麻

問６　次の文章は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人日本学校保健会）の健康相談の基本的なプロセスに関する記述の一部である。正しいものの組み合わせを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 33

① 健康相談の対象者は、保健室等での対応を通して健康相談が必要とされた児童生徒、健康相談を希望する児童生徒、保護者等から相談依頼のあった児童生徒のいずれかに該当する者のみである。
② 健康相談は継続的な支援であり、１回で終わるものは健康相談に含めない。
③ 児童生徒の訴え（腹痛や頭痛等）に対しては、病気や障害があるかないかを確かめることが大切である。
④ 校内委員会（組織）等で情報交換し検討することによって、的確に課題の背景がつかめるようにする。
⑤ 健康相談を行う場合は、個人情報の取り扱いに注意し、できるだけ一人で対応し、結果のみを報告することが望ましい。

1　①、②
2　③、④
3　④、⑤
4　②、③
5　①、⑤

問７　次の文章は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人日本学校保健会）の心的外傷後ストレス障害（PTSD）に関する記述の一部である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 34

1　PTSDの症状はトラウマの発生から数カ月以上たってから現れることがある。
2　フラッシュバックや悪夢は、「回避・麻痺症状」の代表である。
3　子供の場合、フラッシュバックは必ず起こる。
4　トラウマを想起させる場所や状況を避ける、トラウマの中心部分が想い出せない、現実感が低下するなどは、「覚醒亢進症状」にあたる。
5　災害や事件などが起きた日付（１周年など）に、一旦治まっていたPTSDの症状が再燃することがある。これをカクテルパーティ効果という。

問８　次の文章は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人日本学校保健会）の月経困難症に関する記述の一部である。正しいものを、次の１～５の中から一つ選びなさい。 35

１　月経開始の３～10日間の黄体期に続く精神的あるいは身体的症状で、月経開始とともに減弱あるいは消失する。
２　月経困難症は器質性月経困難症と機能性月経困難症に分類され、子宮内膜症等に起因するものは、機能性月経困難症に分類される。
３　痛み止めを飲んでもおさまらない、日常生活に支障をきたす場合などは、婦人科受診を勧めることが望ましい。
４　精神症状が主体で精神の不安定さが際立って強い場合は、器質性月経困難症に分類される。
５　月経困難症は、年齢や妊娠・出産とともに必ず軽快することを説明することが大切である。

問９　次の文章は、「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」（平成29年３月　文部科学省）の学校における児童生徒の課題解決の基本的な進め方に示されている養護教諭の役割の一部である。①～⑤のうち正しいものはいくつあるか、下の１～５の中から一つ選びなさい。 36

①　地域の関係機関をリスト化し、教職員等に周知する。
②　管理職や学級担任等に対して、医学的な情報や現代的な健康課題の傾向等を的確に伝える。
③　保護者に対して、家庭での健康観察のポイントや保健室はいつでも誰でも相談できること、相談できる関係機関について、学校通信や保健だより、学校保健委員会活動等を活用して常に発信する。
④　健康面の支援については、専門性を生かし、具体的な手法や長期目標、短期目標等について助言する。
⑤　校内委員会に参加し、疑問点等については必要に応じ発言し、確認する。

１　１つ
２　２つ
３　３つ
４　４つ
５　５つ

問10　次の文章は、いじめ防止対策推進法第28条の条文の一部である。（　①　）～（　④　）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 37

> 第28条　学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、（　①　）その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。
>
> 一　いじめにより当該学校に在籍する児童等の（　②　）、心身又は（　③　）に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
>
> 二　いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間（　④　）することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。
>
> ２　略
>
> ３　略

1	①	質問票の使用	②	発育	③	個人情報	④	療養
2	①	面接	②	生命	③	財産	④	療養
3	①	質問票の使用	②	生命	③	財産	④	学校を欠席
4	①	面接	②	発育	③	個人情報	④	学校を欠席
5	①	面接	②	生命	③	個人情報	④	療養

問11　次の文章は、「学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）に示されている「知的障害・発達障害の子供の特徴と災害後の個別対応」の一部である。**誤っているもの**を、次の１～５の中から一つ選びなさい。 38

1　基本的な生活の安定を最優先する。
2　当面のスケジュールをあらかじめ明示する。
3　視覚的に分かりやすく情報を提示する。
4　災害の映像を見せながら、自分が遭遇している状況や避難の必要性についての理解を促す。
5　情報は、余計な不安をあおらないように吟味して伝える。

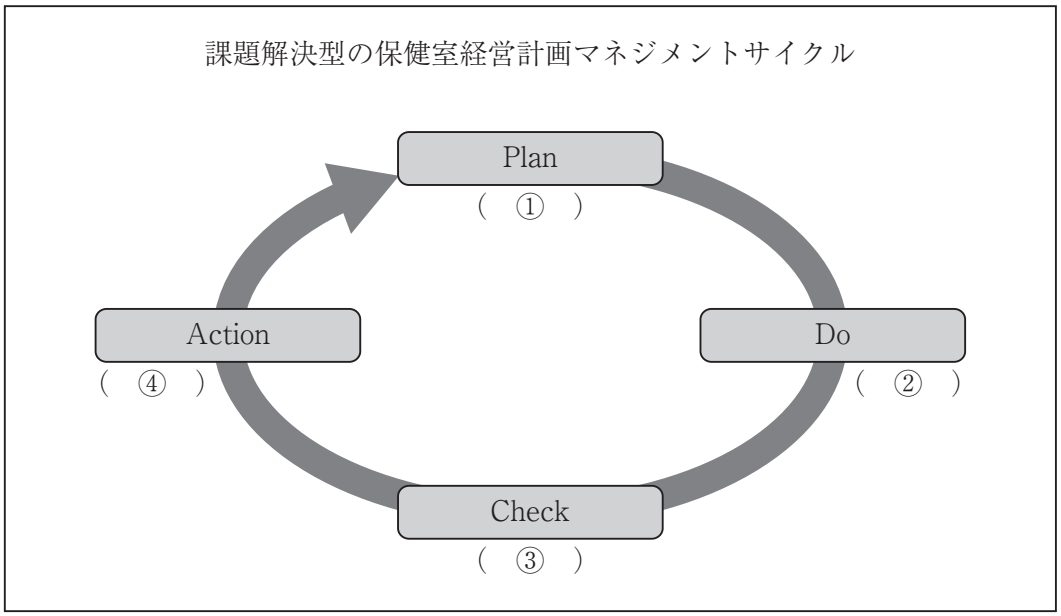
問12　次の文章は、「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）の保健室経営計画の必要性に関する記述の一部である。**誤っているもの**を、下の１～５の中から一つ選びなさい。 39

1　学校教育目標や学校保健目標等に基づく保健室経営を計画的、組織的に進めることができる。
2　児童生徒等の健康課題等を踏まえた保健室経営計画を立てることによって、健康課題を教職員等で共有できる。
3　保健室経営計画の自己評価及び他者評価を行うことにより、課題が明確になり改善点を次年度の保健室経営に生かすことができる。
4　異動による引き継ぎが、円滑に行われる。
5　養護教諭が複数配置の場合は、それぞれの目標を達成するため、それぞれが保健室経営計画を作成する。

問13　次の文章は、「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）の保健室経営計画の評価に関する記述の一部である。**誤っているもの**を、次の１～５から一つ選びなさい。 40

1　自己評価は、養護教諭の取組を対象として実施する。
2　保健室経営計画は単年度計画であり、評価は年度末のみに行うものとし、経過評価や年度途中の計画の修正は必要ない。
3　自己評価では、「なぜそうなったのか／今後に向けて等」について、具体的に記載する。
4　他者評価は、目標に対する達成の状況について、聞き取りやアンケートで学級担任等の関係職員、保護者等の意見を聞いたり、児童生徒等のふり返りカードから読み取ったりして、客観的なデータ等で評価する。
5　他者評価は、学校評価の学校保健の全体評価と、保健室経営の評価をそれぞれ行う。

問14　次の図は、「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）の保健室経営計画に関するものである。（　①　）～（　④　）にあてはまる内容の組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 41



＜内容＞

ア　地域家庭・専門家・関係機関との連携

イ　状況の確認、評価

ウ　見直しと改善

エ　健康課題解決に向けた保健室経営計画の策定

	①	②	③	④
1	ア	ウ	イ	エ
2	イ	ア	エ	ウ
3	ア	イ	ウ	エ
4	エ	ア	ウ	ウ
5	エ	ア	イ	ウ

問15　次の文章は、学校保健安全法第７条の条文である。条文中の下線部①～④について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 42

> 第７条　学校には、①健康診断、②健康相談、③保健指導、④救急処置その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。

1	①	○	②	×	③	○	④	×
2	①	○	②	○	③	○	④	○
3	①	×	②	×	③	×	④	○
4	①	×	②	○	③	×	④	○
5	①	○	②	○	③	○	④	×

問16　次の文章は、「保健室経営計画作成の手引　平成26年度改訂」（平成27年３月公益財団法人日本学校保健会）の養護教諭に求められている役割に関する記述の一部である。**誤っているもの**を、下の１～５の中から一つ選びなさい。 43

1　学校内及び地域の医療機関等との連携を推進する上でコーディネーターの役割
2　いじめや児童虐待など子供の心身の健康問題の早期発見、早期対応
3　学級（ホームルーム）活動における保健指導
4　健康・安全に関わる危機管理への対応
5　感染症発生時の児童生徒への出席停止の指示

問17　次の文章は、中央教育審議会答申（平成20年１月）の学校保健委員会に関する記述の一部である。下線部①～⑤について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、組み合わせとして正しいものを、下の１～５の中から一つ選びなさい。 44

・学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を①研究協議し、健康づくりを推進するための組織である。
・学校保健委員会は、校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、②児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、③養護教諭が中心となって、運営することとされている。
・学校保健委員会については、昭和33年の学校保健法等の施行に伴う文部省の通知において、④学校保健計画に規定すべき事項として位置付けられている。
・学校保健委員会の位置付けを明確化し、先進的な取組を進めている地域の実践事例を参考にするなどして、質の向上や⑤地域間格差の是正を図ることが必要である。

1	①	○	②	○	③	○	④	○	⑤	○
2	①	○	②	×	③	○	④	×	⑤	×
3	①	×	②	×	③	×	④	×	⑤	○
4	①	○	②	○	③	×	④	○	⑤	○
5	①	×	②	○	③	○	④	○	⑤	×

問18　次の文章は、「学校における薬品管理マニュアル　令和４年度改訂」（令和５年３月　公益財団法人日本学校保健会）の要指導医薬品・一般用医薬品の取扱いに関する記述の一部である。養護教諭の役割として**あてはまらないもの**はいくつあるか。下の１～５の中から一つ選びなさい。 45

① 児童生徒の既往歴やアレルギー疾患の有無などの情報を収集・把握しておく。
② 医薬品に関わる資料提供や授業への参画など学級担任や教科担任等と連携して行う。
③ 保健室の一般用医薬品を、一般用医薬品管理簿などを活用して適切に管理する。
④ 学校における一般用医薬品の選択、保管に関する注意事項、使用方法及び使用期限が切れた場合の対応などについて、教職員等に指導・助言する。
⑤ 学校における一般用医薬品の管理責任者となる。

１　１つ
２　２つ
３　３つ
４　４つ
５　５つ

令和７年度　鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験　養護教諭

正答・配点一覧表

問番号（全 45 問）		正答	配点
第 1 問	(1)	1	4
第 2 問	(2)	2	4
第 3 問	(3)	5	4
第 4 問	問 1(4)	3	4
	問 2(5)	3	4
第 5 問	問 1(6)	1	4
	問 2(7)	5	4
第 6 問	問 1(8)	4	4
	問 2(9)	5	4
	問 3(10)	3	4
	問 4(11)	1	4
	問 5(12)	1	4
	問 6(13)	2	4
	問 7(14)	3	4
	問 8(15)	5	4
	問 9(16)	2	4
	問 10(17)	4	4
	問 11(18)	1	4
	問 12(19)	4	4
	問 13(20)	4	4
	問 14(21)	3	4
	問 15(22)	2	4
	問 16(23)	2	4
	問 17(24)	2	4
	問 18(25)	5	4
	問 19(26)	1	4
	問 20(27)	1	4
第 7 問	問 1(28)	1	4
	問 2(29)	3	4
	問 3(30)	2	4
	問 4(31)	4	4

問 5(32)	4	4
問 6(33)	2	4
問 7(34)	1	4
問 8(35)	3	4
問 9(36)	5	4
問 10(37)	3	4
問 11(38)	4	4
問 12(39)	5	4
問 13(40)	2	4
問 14(41)	5	4
問 15(42)	2	4
問 16(43)	5	4
問 17(44)	4	4
問 18(45)	2	4

計 180 点